

Sathya Sai International Organization Japan



サティヤ サイ

インターナショナル オーガニゼーション

ジャパン

会員小冊子

Sathya Sai Baba

1. サティヤ サイ ババとは

1) サティヤ サイ ババの教え

「私は神です。あなた方も神です。私とあなた方の唯一の違いは、私はそのことを知っていますが、あなた方はそのことを全く知らないことです。」

—— サティヤ サイ ババ

(<http://www.sathyasai.or.jp/international/saibaba.html>)

* 1

これはサティヤ サイ ババが自らの真実の姿と神性について人々が尋ねた時に与える答えです。この人間の神性という根源的な真理は、ババのメッセージの中心を成しています。実際、講話では、ババは人々に向かって「神性アートマの化身である皆さん」と話しかけます。ババの純粹かつ無私の愛を体験し、その啓発的な助言の恩恵により、ババの奇跡的な天性を目撃した人々は皆、神の栄光と荘厳さを垣間見ます。そして、それゆえ、人は自分が潜在的かつ本質的に神であるということに気づかされるのです。

また同時に、サイ ババのもう一つの大切な教えは、人間的価値

(ヒューマン バリュース)に関するメッセージです。人間的価値とは、
*2
ヴェーダ (天啓経典) やウパニシャッド (ヴェーダの奥義書) などで述べ

*3

られている至高の叡智そのものであり、あらゆる 霊性の師による神の教え

サティヤ

ダルマ

シャーンティ

プレーマ

アヒムサー

の本質です。それは、真実 (真理) ・正義・平安・愛・非暴力の五つ

のことで、これらを総称して五大価値と呼びます。これらすべては、私たちの本質である愛を基盤にしたものであり、愛の別名でもあります。その意味では愛こそが私たちを導く光であり、サイ ババの教えの中核を成すものといえるでしょう。

*1 「サティヤ」とは真実 (真理) を、「サイ」(サーイー) は神聖にして母なる神を、「ババ」(バーバー) は父を意味します。したがって、サティヤ サイ ババとは、私たちの「真の母父」という意味です。

*2 ヴェーダの詠唱の伝統は、2009 年にユネスコの無形文化遺産に登録されています。

*3 サイ ババの説く「霊性」とは、万物に内在するアートマと呼ばれる同一の神性のことをいいます。「霊」とは、そのアートマそのものを指しています。

2) サティヤ サイ ババのアヴァター宣言

サティヤ サイ ババは、南インド、アーンドラ プラデーシュ州のプッタパルティという村に、1926 年 11 月 23 日にサティヤ ナーラーヤナ ラージュとして生まれました。ラージュの霊性と思索的な性格は、他の同年代の子供とは、かけ離れていました。ラージュは、村の同輩や他の人た

ちの間では「グル」（導師）や「ブラフマ グニャーニ」（神を知る者）と呼ばれていました。

そして、1940年10月20日、ラージュは初めて、自分は神の化身（アヴァター）であり、シルディ サイ ババ（1838年9月27日～1918年10月15日）の生まれ変わりである、という歴史的な宣言（アヴァター宣言）みわざをしました。これ以降、世界中にサティヤ サイ ババの神の御業が知られるようになりました。

今日、世界中の、さまざまな信仰を抱く、さまざまな国の数え切れないほどの人たちが、サティヤ サイ ババを崇拝しています。

3) サティヤ サイ ババ降誕の目的

サイ ババは自らの降誕の目的について、「崩壊してきた正義を世界に復興させ、また、神へと到るいにしへの王道を修復するために来た」と語っています。それはご自身の言葉でこう語られています。

「このサイは、人類全体を一つの家族として同胞愛という絆でつなぐこと、宇宙全体が支えられている基盤である神性を明らかにするために、万物のアートマ真理（真我）を断言し光を照らすこと、そして、人が動物のレベルから脱却して神へと至るというゴールに到達することができるよう、人と人を繋ぐ共通の神聖な遺産を認識するようすべての人に教えること、という究極の任務を達成するためにやって来ました。」

—— サティヤ サイ ババ

(<http://www.sathyasai.or.jp/international/saibaba.html>)

サティヤ サイ ババは、二つの重要な役割を担う、完全な神の化身です。

第一に、ババは偉大な靈性の師であり、世界中のすべての宗教の根源的な教えの根本を成している最も偉大かつ最も難解な靈的真理を、わかりやすく、やさしく明らかにすることで、よく知られています。バガヴァンは、その使命に関する説明をした時に、こう宣言しています。

「私は何らかの教義を破壊し妨害するために来たわけではなく、キリスト教徒がより良いキリスト教徒になれるよう、イスラム教徒がより良いイスラム教徒になれるよう、また、ヒンドゥー教徒がより良いヒンドゥー教徒になれるよう、それぞれが各自の信仰を確かなものとするために来たのです。」

—— サティヤ サイ ババ

(<http://www.sathyasai.or.jp/international/saibaba.html>)

サティヤ

人が意義のある人生を送れるようにとババが説く基本原則は、真実（真

ダルマ シヤーンティ プレーマ アヒムサー

理）・正義・平安・愛・非暴力という五大価値です。これが、この病

しょうせん

める世界に対するババの処方箋なのです。

第二に、ババは純粋な愛の尽きることなき宝庫というべき存在です。無料の病院、無料の学校や大学、無料の飲み水の供給、あるいは無料の家屋の提供といった、ババの数え切れないほどの奉仕活動のすべては、インドの貧しい人々や恵まれない人々へのババの無私の愛と思いやりの証しとして存在しています。ババの宣言どおり、「私の人生が私のメッセージ」な

のです。

人への奉仕は神への奉仕であるという理想を生きる、という手本を自ら示すことによって、ババは世界中の数え切れない人々を鼓舞してこられ、また今も鼓舞し続けています。今日、サティヤ サイ国際オーガニゼーションは世界 126 カ国にあり、会員たちは身近な地域社会に貢献するためにグループでの奉仕活動を行っています。

2. サティヤ サイ ババの足跡

1) ダルシャン (神の御姿を拝謁すること)

サイ ババは、約 68 年間にわたって、ほぼ毎日、午前と午後の 2 回、人々の前に現れてダルシャンを与えました。その際に手紙を受け取ったり、時にはヴィブーティ (神聖灰) を物質化したりしました。このダルシャンによって、サイ ババは人々に限りない愛を注ぎ、人々を慰め、癒し、霊的向上に導きました。これこそサイ ババの無限の愛の証です。

2) スパルシャン (神に触れること) とサンバーシャン (神と言葉を交わすこと)

サイ ババはダルシヤンの際に自ら選んだ人々に対してインタビュー（面談）の機会を与えました。インタビュー ルームでは、パーダ ナマスパーダカール（礼拝として御足に触れること）を与えたり、人々の個人的な問題に対して回答やアドバイスを与え、靈的原理についてわかりやすく話したりしました。また、時には指輪やネックレスなどを物質化して与えることもありました。インタビューでは、多くの人々が、サイ ババの愛の深さと、全知、全能、遍在の奇跡を経験し、サイ ババは神の化身であるという確信を強めました。

3) 講話

サイ ババは、靈的な祝祭日などに、年に 30 回以上講話をしました。講話は、通常、サンスクリット語の詩の吟唱から始まり、人間として生きていくために大切な、真実（真理）・正義・平安・愛・非暴力という五しんえん

つの価値観に基づいた深淵な靈的原理を、インドの聖典であるヴェーダやシャーストラ、インドの古代叙事詩『ラーマヤナ』に示されたラーマ王子の物語、『バガヴァッド ギター』に示されたクリシュナの教え、あるいは聖者や賢人や偉人の物語などを引用しながら、わかりやすく説法しました。

講話は非常にエネルギッシュで、聞く人にサイ ババの愛がひしひしと伝わります。サイ ババの愛に満ちた講話は、世界中の数限りない人々の心を神に向けさせ、道徳的生き方をするように変容させています。

講話の内容は、サティヤ サイ出版協会が発行する書籍、Web サイト、月間サイ メールマガジン、隔月誌サイラムニュースに、順次、日本語訳が掲載されています。

4) 教育

サイ ババは、子供たちが優れた人格と適切な道徳観、倫理観、霊的な視点を持ち、将来模範的な市民となるように、理想的な教育システムと施設を創設し、すべての教育が無料で受けられるようにしました。

まず、子供たちの柔軟な心が美しく花開くように、適切な道徳観、価値観^{バール}を身に付けさせることを目的としたバール ヴィカス（子供の開花教室）という子供のための霊性教育を 1969 年にスタートさせました。

大学教育としては、1968 年 7 月アーンドラ プラデーシュ州アナンタプル市に女子学生のためのサティヤ サイ アート アンド サイエンス カレッジが、1969 年 6 月カルナータカ州バンガロール市（現ベンガルール市）のホワイトフィールドに男子学生のためのカレッジが、1979 年 7 月アーンドラ プラデーシュ州のプラシャーンティ ニラヤム町に男子学生のためのサティヤ サイ カレッジが、それぞれ開学しました。1981 年にサティヤ サイ インスティテュート オブ ハイヤーラーニング (SSSIHL) が総合大学として承認されると、同年プラシャーンティ ニラヤムとアナンタプルのカレッジが SSSIHL（通称サティヤ サイ大学）と改称しました。1982 年にホワイトフィールドのカレッジも統合され、それぞれ SSSIHL の布林ダーヴァン キャンパスとアナンタプル キャンパスとなりました。2011 年にはカルナータカ州のムッデナハッリ村に新しいキャ

ンパスも開学しました。この他に、地元の大学と提携している女子学生のためのサティヤ サイ カレッジが、ラージャスターン州ジャイプル市と、マディヤ プラデーシュ州ボーパール市と、オリッサ州ブバネーシュワル市にあります。

小中高等教育としては、1972年にテルグ語で高等教育を行う全日制のイーシュワランマ ハイスクールがプラシャーンティ ニラヤム町に開校しました。この学校は2009年に英語で全日制の初等教育を行うイーシュワランマ イングリッシュ メディウム スクールと改称しました。1981年には、英語で小中高レベルの教育を行う全寮制のサティヤ サイ ハイヤーセカンダリー スクールがプラシャーンティ ニラヤム町に開校しました。

この他にも、サイ ババの教育理念に賛同する人々によって、サティヤサイの名を冠した学校が世界中にたくさん創設されました。その数は、インド国内で80校以上、インド国外で40校以上あります。これらの学校は、政府が定めたカリキュラムに従って一般教育を行うと同時に、道徳と靈性に関する教育も行い、卓越した人格を形成することを最大の目的としています。

またサイ ババは、2010年、85歳の時、学校に行けない貧しい子供たちに向けて、ITを活用したヴィッディヤー ヴァーヒニー（知の流れ）という教育プロジェクトを開始しました。優秀な卒業生を輩出した現在では、この教育プログラムは人間の資質を開発する最も優れたものの一つとして

世界中から注目を集めています。真実（真理）・正義・平安・愛・

アヒムサー

非暴力という人間的価値を基盤とした普遍的なこの教育プログラムは、サ

ティヤサイ人格形成教育（SSEHV／人間的価値教育）と呼ばれ、現在多くの国々で一般の学校のカリキュラムに組み込まれています。

5) 医療奉仕

サイババは、インド全土で最も近代的な設備が整えられた病院であるスーパー スペシャルティ ホスピタル（高度専門病院）をプラシャーンティ ニラヤム町に設立しました。この病院は世界の七不思議の一つとして賞賛されているタージ マハルに匹敵するほどすばらしいものです。その建物は、実に7ヶ月半という記録的な短期間で完成し、1991年11月22日、インド国首相ナラシンハラーオ閣下（当時）により落成式が執り行われました。

この病院は、カーストや肌の色、宗教、宗派、国籍、経済状態にかかわらず、すべての患者が心臓切開手術や腎臓移植手術、精密検査などを無料で受けられる世界で唯一の病院です。

また、この病院は、世界の医療機関から病院のモデルケースとして見学者が多く訪れ、医療財政の改善のモデルとしても世界から注目を集めています。

開設当時は心臓血管科だけでしたが、後に泌尿器科、腎臓移植を含む腎臓病科、そして角膜移植を含む眼科、消化器科、整形外科が開設、運営されるようになりました。今では数千人もの患者が、優れた技術を有する評判の高い内科医や外科医の手による高度な治療の恩恵を受けており、受付から入院、そして治療食に至るまで、すべての治療に関する費用は無料で

す。

学会も盛んに行われ、国際的な心臓病学のシンポジウムが 1993 年 2 月、1994 年 1 月、1995 年 12 月の三回にわたって開催され、多くの国から著名な心臓病学者や心臓外科医が出席し、政府からも、インド国大統領、厚生大臣、政府高官等が出席しました。このシンポジウムの主催者であったサイ ババは、会議の席上で、この病院の治療に関する指導の原理および原則を公表しました。2008 年以降は、毎年、国際的な医学会議が開催されています。

この病院が開設してから約 9 年後の 2001 年 1 月、バンガロール市（現ベンガルール市）ホワイトフィールドに二つ目のスーパー スペシャルティ ホスピタル（高度専門病院）として、サティヤ サイ インスティテュート オブ ハイヤー メディカル サイエンスが設立されました。1956 年に設立されたプッタパルティ村のジェネラル ホスピタル（総合病院）、1976 年に設立されたホワイトフィールドのジェネラル ホスピタル、そして 2006 年から始まったモバイル ホスピタル（移動病院）、これら五つの医療施設は、サイ ババが創設したサティヤ サイ セントラル トラストによって運営されています。

これらの他にも、サイ ババの理念に賛同する人々によって設立されたサティヤ サイの名を冠する医療施設が世界中にたくさんあります。

6) 困窮した人々への奉仕

南インドのアーンドラ プラデーシュ州アナンプル県に住む かんぼつ 350 万を超える人々は、過去 40 年にもわたって深刻な水不足に悩まされ、干魘と

食糧飢饉に苦しんできました。飢えと渇きの中で死んでいく人々に対して、インド政府は決定的な対策を講じることができませんでした。1994年、降誕69周年記念日の前日、サイ ババは、慢性的な水不足の状態で暮らしている人々の祈りに応え、飲料水を供給するプロジェクトを開始すると宣言しました。そして、総距離が日本列島の長さに達するほどの上水道施設を、工事開始から10ヶ月という驚異的な短期間に成し遂げました。

日本と異なり、通信施設や道路が十分に整っていない南インドの乾燥地帯で、このような短期間のうちに工事を完成させるのは奇跡的なことです。プロジェクトの完成式典は、インド国大統領シャンカラダヤール シャルマー閣下、インド国首相ナラシンハ ラオ閣下（当時）のご臨席のもと、サイ ババの降誕70周年記念日に行われました。

このプロジェクトは、この後さらにタミル ナードゥ州のチェンナイ市その他数ヶ所で着工され、今なお南インドの多くの人々に恵みの水をもたらしています。

こうして、サイ ババは、「基本的な人間的生活を維持するために必要な資源をすべての人に供給することは社会の責任である」ということを自ら示しました。このように、サイ ババは自らの人生を、全くの無欲さと高潔さをもって人類への奉仕に捧げたのです。

SSIOJ

サティヤ サイ 国際 オーガニゼーション ジャパンのご案内

SSIOJ とは

サティヤ サイ国際オーガニゼーション ジャパン（以下 SSIOJ という）は、1965年にサティヤ サイ ババの祝福により設立されたサティヤ サイ国際オーガニゼーション（以下 SSIO という）に、日本支部として加盟しています。本部はインドのアーンドラ プラデーシュ州プラシャーンティ ニラヤム町にあり、世界の 126ヶ国に 2000以上のサイ センターがあります。

SSIOJ は、1975年、日本においてサティヤ サイ ババの教えを学び、これを実践したいという、人々の真摯な願いから生まれました。現在、北は北海道から南は沖縄まで、25のセンターとグループがあり、会員の霊性（内なる神性）向上のために、さまざまな活動に取り組んでいます。

「宗教は多くても神は一つです」というサイ ババの教えに基づき、すべての宗教に敬意を払っています。SSIOJ は、霊性の向上を目指す方すべてに門戸を開いていますが、組織を拡大するための活動や政治活動、商業活動などは一切行いません。組織の運営はすべて無償の奉仕で行われ、

会費は一切無料です。

SSIOJ の活動

SSIOJ は、バガヴァン シュリ サティヤ サイ ババの御教えのもとに、
霊性、教育、奉仕という三分野でさまざまな活動を行っています。

霊性活動では、バジヤン（神への讃歌）会、スタディー サークル（サイ
ババの教えを学ぶ集い）、ヴェーダ（天啓経典）の学習、光明瞑想、
講演会、セミナーなどが行われています。

パール

教育活動では、子供のための霊性教育「パール ヴィカス」（子供の開
花教室）を開催し、卓越した人格の形成を目標にした「人間的価値教育」
(SSEHV、人格形成教育) を含む教育が行われています。

バリュース

奉仕活動では、路上生活者への食事奉仕、老人介護施設などの訪問、一
人親家庭など生活困窮者への食糧支援、献血などが行われています。

また、サイ レディース（婦人部）では、バジヤン会や菜食料理教室、
健康プログラムなどが行われ、サイ ユース（青年部）では、18歳～40
歳までを対象としたプログラムをはじめ、ラジオ サイ（インターネット
のラジオ番組）の企画運営にも取り組んでいます。

SSIOJ の組織体制 (2017年現在)

SSIO 本部 : インドのブラシャーンティ ニラヤム

SSIO の組織 : インド、アメリカ、カナダ、南米各国、オーストラリア
ニュージーランド、南ヨーロッパ各国、北ヨーロッパ各
国、東ヨーロッパ各国、イギリス、アフリカ各国など
126ヶ国以上に2000以上のセンターとグループがある

SSIOJ : SSIO の世界第5地域の第51地区 (日本・台湾・中国・
香港・韓国) に所属

SSIOJ の組織 (2017年現在) :

サイ センター 10 : 札幌、千葉、東京、埼玉、横浜、名古屋、京都、
大阪、神戸、沖縄

サイ グループ 17 : 帯広、盛岡、宮城、新潟、長野、群馬、多摩、
川崎、金沢、静岡、浜松、奈良、岩国広島、香川、
北九州、福岡、鹿児島

SSIOJ の運営組織

会長

中央評議会

全国世話役 (コーディネーター) ミーティング

部門世話役 (部門コーディネーター)、地域世話役 (地域コーディネー

ター)
地域委員会
サイ センター、サイ グループ
会員

SSIOJ の会則

1) 会の目的

「サイ オーガニゼーションの唯一の目的は、人に自らの内なる神性を見出させ、自己への信念と神への信仰を取りもどさせることである。自分と神とを信じることから得られる力は、絶えることがない。サイ オーガニゼーションの目的は、人々にもう一度この真実に気づかせ、その認識の中で生きるようにさせることである。」

—— サティヤ サイ ババ『サティヤ サイババによる靈的指針』第二版
p 8)

SSIOJ は、会員の内なる神性を実現することを唯一の目的としていま
サティヤ ダルマ
す。そのため会員は、あらゆる人間関係を、真実（真理）・正義・
シャーンティ ブレマ アヒムサー
平安・愛・非暴力の原則に基づいたものとする事、無私^の愛の実践者として社会への奉仕活動を行うこと、また、各人が信仰する自分の宗教の真の精神を正しく理解することにより、誠実かつ献身的な人間として成長することが求められています。

2) 会員になるための資格

「会員になるための資格は、熱心に靈的成長を目指していて、組織が冠する名前への完全な信仰を持っていること、（中略）そして、善良な人

物としての認識を勝ち得ていることです。それが必要な資格のすべてであって、それ以外に重視されるものはありません。」

—— サティヤ サイ ババ (1967.4.21)

3) 入会および退会

会員になろうとする人は、センター・グループ世話人に申し出て、入会および退会することができます。入会手続きは、センター・グループに所属する人は、会員登録書をセンター・グループ世話人に提出してください。センター・グループに所属していない人は、ホームページより会員登録書をダウンロードのうえ、必要事項を記入し、SSIOJ会員登録係に送り、入会手続きとなります。会長の判断により入会をお断りする場合もあります。

退会する場合は、センター・グループに所属している会員は、退会届をセンター・グループの世話人に、センター・グループに所属していない会員はSSIOJ事務局に送り退会となります。また、会員への連絡が1年以上つかなくなった場合は退会となります。

郵送先： 〒153-0043 東京都目黒区東山 1-30-8 メゾン

デュオーラ目黒 地下1階

サティヤ サイ東京センター内 SSIOJ会員登録係

FAX 送信先： 045-4330-1399

お問い合わせ： EメールまたはFAXで会員登録係までお願いいたします。

Eメール： ssiojkaiin@sathyasai.or.jp

FAX： 03-4330-1399

4) 会員の権利

- 1 会員は、センター・グループ運営について発言し、本規約に基づいてその運営に参加することができます。ただし発言する場合や運営に参加する場合には、以下のルールに従わなければなりません。
- 2 会員は、所属するセンター・グループの世話人に、地域委員会あるいは評議会への意見を託すことができます。世話人は、その意見をセンター・グループ世話人会に諮った上で、地域委員会あるいは評議会で紹介することができます。
- 3 会員は、所属するセンター・グループの世話人を通じて、事前に地域委員会あるいは評議会の傍聴を申請することができます。議長の了解が得られれば、オブザーバーとして会議に参加することができますが、会議で発言するためには議長の許可が必要となります。
- 4 会員は、センター・グループ会長の許可の下、所属するセンター・グループの世話人会にオブザーバーとして参加することができます。ただし、会議で発言するためにはセンター・グループ世話人の許可が必要です。

- 5 会員は、評議会会長の推薦を得て、プラシャーンティ ニラヤム、あるいはその他の場所で国際サイ オーガニゼーションが開催する国際大会、国際会議、セミナーに、日本支部所属の会員として参加することができます。

5) 会員の責務

会員は、サティヤ サイ ババの教えを学び、これを実践していくよう努めます。特にサティヤ サイ ババご自身が定めた「9つの行動規定」と「10の指針」を遵守することが求められます。

「9つの行動規定」

(サイ ババが定めたサティヤ サイ オーガニゼーションの憲章より)

- 1 毎日、瞑想と祈りを行う。
- 2 週に一度、家族と共に信愛の歌を歌う／祈りを行う。
- 3 オーガニゼーションが実施する子供のための教育プログラムに子供を参加させる。
- 4 オーガニゼーションが実施する信愛プログラムの集まりに少なくとも月に一度参加する。
- 5 オーガニゼーションによる地域奉仕その他のプログラムに参加する。
- 6 サイ文献を定期的に学ぶ。

- 7 「欲望に上限を設ける」行動規範（節制のプログラム）を実践し、それによって蓄えたものを人類への奉仕に役立てる。
- 8 自分が接するすべての人に優しく愛をもって話す。
- 9 他者の悪口を言わない。特に本人がいないところで。

*1 飲酒、喫煙などの好ましくない習慣をやめ、時間、お金、食べ物、エネルギーを節約するよう常に心がけ、その分を必要な人々にまわすよう心がけること。

「10の指針」

(1985年11月21日の御講話の中でサティヤ サイ ババが定めた訓令の要約)

- 1 自国を愛し、自国に仕えなさい。他者の国に対して批判的になってはなりません。
- 2 すべての宗教を敬いなさい。どの宗教も、同一の神に到達する道だからです。
- 3 一切の差別をせず、万人を愛しなさい。全人類は一つの社会であると知りなさい。
- 4 自分の家と周囲の環境を清潔に保ちなさい。
- 5 人々の自立を助けなさい。病人やお年寄りに、食事と住むところ、愛と親切を施しなさい。

- 3 会員や帰依者に対するヒーリングや予言、サティヤ サイ ババから特殊なメッセージを受けと称し、それを触れ回ること。
- 4 商品の売買、取引、説明、売り込み等の商行為、ビジネスの勧誘、金銭の貸し借り、他団体への寄付の要請。
- 5 センター・グループで唱えられているヴェーダや歌われているバジヤンなどにより金銭的対価を得ること。
- 6 口頭・メール・手紙などにより、求められていない一方的な主張を他の会員やセンター・グループに送りつけるなどの迷惑行為。
- 7 サイ センター・グループ活動のために入手した個人情報（住所、電話番号、ファックス番号、メールアドレス等）を、センター・グループ活動以外の目的で使用する事。
- 8 無許可での写真撮影や録画撮影。
- 9 その他、会員や他人に迷惑をかける行為やオーガニゼーションの調和を乱す行為。

7) 会員資格停止

会員の禁止事項を繰り返し行い、世話人などの注意やアドバイスなどに従わず改まらない場合、会員登録書に虚偽があるなど会員として相応しくない行為があった場合、当該者の会員資格は停止されます。

会員資格が停止された場合には、速やかに会員資格停止することを本人に通達します。その後は、センター・グループ活動への立ち入りはできません。

せん。

なお、会員以外の参加者であっても、オーガニゼーションの活動に参加する人が会則の禁止事項に抵触することがあった場合は、オーガニゼーションの活動への参加はできなくなります。

8) 会員名簿

全国の会員名簿は、中央事務局が管理します。この名簿は、SSIOJ がサイ オーガニゼーションの活動に関する連絡をするためだけに用い、他の用途に使用したり、一般に開示したりすることはありません。

会員名簿は、それぞれのセンター・グループ活動のための必要に限り、センター・グループへ開示されます。センター・グループはこれを他の用途に使用したり、他の会員に見せたりすることはありません。

会員の入会届や退会届があった場合、あるいは会員資格停止処分があった場合には、各センター・グループに連絡されます。

サイ ババのメッセージで最も大切な御教えは、「Love All, Serve All」——すべてを愛して、すべてに奉仕しなさい、そして、「Help Ever, Hurt Never」——いつも助けて、決して誰をも傷つけてはなりません、であるとして知られています。

「すべてを愛して、すべてに奉仕する」そして、「いつも助けて、決して誰をも傷つけない」という生き方は、私たち自身を幸せに満ちた人生に

導き、また、その生き方を通して、世界に愛を広げるものとなるでしょう。

霊性修行というと、日常から離れて山の中で修行するような難しいイメージがありますが、本当はそうではありません。日々の暮らしの中でこそ、自己変容はもたらされます。このサイババの説く「すべてを愛して、すべてに奉仕する」、そして、「いつも助けて、決して誰をも傷つけない」という生き方を通して、間違いなく私たちは自己変容を遂げ、私たちの本質である真我（内なる神性）を実現することになるでしょう。

みんなが幸せになりますように。

唯一の宗教が存在します それは愛という宗教です
唯一のカーストが存在します それは人類というカーストです
唯一の言語が存在します それはハートという言語です
唯一の神が存在します 神はすべてに遍在しています

——サティヤ サイ ババ

651-0056 神戸市中央区熊内町5丁目1-3 ISSハイツ1階
サティヤ サイ インターナショナル オーガニゼーション ジャパン
電話&FAX 078-222-1885